

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	総合政策学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 「基礎演習」の効果的な運用を行うため、その担当者を対象とするFD研修会を実施する。	→「基礎演習」担当者全員を対象としたFD研修会の実施の有無。	C	A	A	A	A
2. 初年次教育プログラムを2011年度に策定し、2012年度から実施する。	→初年次教育プログラムの策定の有無。	D	C	B	B	B
3. 入学時の教務オリエンテーションに加えて、幾つかの基礎演習単位で学科選択に特化したガイダンスを実施する。	→学科選択に関する特別ガイダンスの実施の有無。	A	A	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか FD・カリキュラム委員会と初年次教育委員会が中心となって、年に2回、「基礎演習」を対象としたFD研修会を実施している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 各「基礎演習」担当者が集まって互いの授業実践報告や問題点の検討などを行い、授業運営に効果を上げている。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も引き続き「基礎演習」担当者を対象としたFD研修会を実施する。	☆
		その他	☆

目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 英語教育、コンピュータ教育、基礎演習のカリキュラム連携を引き続いて実施している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 課題としては、具体的な成果の検証を行う必要があることが考えられる。基礎演習担当の教員からは、カリキュラム連携により、レポートの書き方やプレゼンテーションの仕方に関する指導に一定の効果があるという指摘があった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、同様のカリキュラム連携を実施していく。	☆
		その他	☆
			☆
目標3	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 秋学期開始直後に、複数の「基礎演習」ごとに、各学科の教員と事務担当者とが学科選択に関するオリエンテーションを実施している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 秋学期後半の学科選択手続きに向けて、学生の意識付けを行うとともに、学科選択に関する正確な情報を提供して、学生が支障なく手続きを行えるように指導できている。現在のところ、特に改善点・課題はない。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も、同様の実施方法で、学科選択のオリエンテーションを行っていく予定である。	☆
		その他	☆
			☆
備考		☆	